

かけがわシティプロモーション通信



第11号



あなたの夢、描いたつづきは掛川で。

輝くかけがわ応援大使に

新たに2名を委嘱

掛川市の魅力を国内外に発信する「輝くかけがわ応援大使」に、新たに2名の著名人を委嘱しました。今回の委嘱で、輝くかけがわ応援大使は43名となりました。

長唄・三味線

まねや かつひこ
杵屋 勝彦 さん



2019年10月3日 委嘱

杵屋会所属。熱海市をはじめ、東京、横浜、大阪など全国6か所に稽古場を持つ杵屋さんは、2010年から、市内で開催される長唄鑑賞会や掛川祭に出演。大使委嘱式では「自身の活動を通して、掛川を対外的に発信していきたい」と語りました。

ソフトバンク株式会社 代表取締役副社長 兼 COO しんば じゅん
榛葉 淳 さん

2019年11月18日 委嘱

掛川市東山口地区出身。栄川中、掛川西高卒業。大学卒業後、新卒で日本ソフトバンク（元ソフトバンクグループ(株)）に入社。主に営業やマーケティング職を経て、取締役常務執行役員、専務取締役を歴任し、2017年より現職。ソフトバンク汐留本社で行われた大使委嘱式で、地元掛川の発信に意欲を示しました。



11月、パラ陸上世界選手権2019がドバイで開催され、掛川市出身で輝くかけがわ応援大使の山本篤選手が、男子走り幅跳び（義足T63）で3位に入り、来年の東京パラリンピック代表に内定しました。これで4大会連続のパラリンピック出場となります。

山本 篤（陸上競技選手）
掛川市出身。掛川西高在籍時にバイク事故で左足の大腿部を切断。高校卒業後、義肢装具の専門学校に進学。そこで競技用義足と出会い、陸上を始める。2016年リオ五輪では、走り幅跳びで銀メダル、4×100mリレーで銅メダルを獲得。2017年4月に応援大使就任。

応援大使 山本篤選手
‘20年の東京パラ内定



掛川のみんで
応援しよう！！



シティプロモーション市民協働会議の会員である和田岡地区まちづくり協議会が主催する「和田岡地区敬老会&フェスティバル」にて、掛川市プロモーション動画「掛川物語」が上映されました。上映にあたり、「掛川物語」の音楽プロデュースを担当した「輝くかけがわ応援大使」の高野康弘さんと、作曲を担当した池谷貴恵子さんがゲスト出演し、ピアノの生演奏を披露しました。



和田岡フェスティバルで 掛川市プロモーション動画披露

今年7月に開催した「掛川市シティプロモーション市民協働会議交流会」に参加された和田岡地区まちづくり協議会の渡邊政和会長が、そこで披露された「掛川物語」の映像と音楽、高野大使らの生演奏に感動。「もっと地区住民にも普及させたい」という思いから、和田岡フェスでの披露が実現しました。



現在、掛川市シティプロモーション市民協働会議に参加する団体は111団体。協働力によるシティプロモーションの推進体制を構築し、掛川を売り込み、人を呼び込む取組を進めています。市民協働会議の参加団体は随時募集中です！



粟ヶ岳山頂テラス カフェ利用者1万組達成

今年5月にオープンした粟ヶ岳世界農業遺産茶草場テラス（通称：かっぱしテラス）のカフェ利用者が、10月31日に1万組を達成し、記念セレモニーが行われました。節目の利用者となったお二人に、松井市長から花束、「茶文字の里東山」の田中铁男社長からは地元東山の深蒸し茶など記念品が贈られました。



かっぱしテラスは、木の良さや価値を再発見させる建築物として評価され、「ウッドデザイン賞2019」ソーシャルデザイン部門で入賞しました。



「粟ヶ岳世界農業遺産茶草場テラス」動画
【Kakegawa Douga Channel (YouTube)】